

業績 (2024 年度)

A. 原著論文

1. Murofushi T, Yagi T, Tsuji D, Furushima D, Fujikura T, Itoh K, Kawakami J. Changes in estimated glomerular filtration rate in patients administered proton pump inhibitors: a single-center cohort study. *Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol.* 2024;397(7):4927–4938.
2. Nakatsugawa E, Naito T, Shibata K, Kitajima R, Kawakami J. Impacts of genetic polymorphisms and cancer cachexia on naldemedine pharmacokinetics and bowel movements in patients receiving opioid analgesics. *Fundam Clin Pharmacol.* 2024;38(3):596–605.
3. Suzuki K, Yagi T, Kawakami J. Long-term efficacies of selective vasodilators in pulmonary arterial hypertension: a comprehensive comparison using a spontaneous reporting database. *Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol.* 2024;397(7):4981–4992.
4. Inui N, Suzuki T, Tanaka K, Karayama M, Inoue Y, Mori K, Yasui H, Hozumi H, Suzuki Y, Furuhashi K, Fujisawa T, Matsuura S, Nishimoto K, Matsui T, Asada K, Hashimoto D, Fujii M, Niwa M, Uehara M, Matsuda H, Koda K, Ikeda M, Inami N, Tamiya Y, Kato M, Nakano H, Mino Y, Enomoto N, Suda T. Olanzapine plus triple antiemetic therapy for the prevention of carboplatin-induced nausea and vomiting: a randomized, double-blind, placebo-controlled phase III trial. *J Clin Oncol.* 2024;42(23):2780–2789.
5. Sakaguchi K, Naito T, Hoshikawa K, Miyadera Y, Tanaka H, Nakatsugawa E, Furuta T, Sugimoto K, Kawakami J. Characterization of plasma vonoprazan and CYP3A activity using its endogenous marker and genetic variants in patients with digestive system disorders. *Drug Metab Pharmacokinet.* 2024 in press.
6. Asakura M, Seki N, Mino Y, Kobayashi T, Koizumi T, Naito T. Serum lenvatinib and interleukin-6 profiles and their relationships with the development of acute heart failure in a thymic carcinoma patient with cancer inflammation. *Ther Drug Monit.* in press.
7. Mino Y, Hoshikawa K, Naito T, Akutsu S, Imoto Y, Nakatsugawa E, Saotome M, Maekawa Y, Kawakami J. Potential amelioration of liver function by low-dose tolvaptan in heart failure patients. *Toxicol. Rep.* 2025; 14: 102009.

B. 論文形式のプロシーディング

C. 総説

1. 石田卓矢, 川上純一. 【患者さんからよく尋ねられる内科診療の Question】(第 10 章)代謝・内分泌 [68 歳女性,2 型糖尿病]お金がないのでインスリンをやめたいのですが.....内科 133 巻 4 号 Page956–958 2024 年 4 月
2. 川上純一. 令和 6 年度診療報酬改定. 日本病院薬剤師会雑誌. 2024 年第 60 巻 5 号 464–467.
3. 見野靖晃. 臨床実習の基礎. わかりやすい新実務実習テキスト 2025-2026. 41–44. じほう 2024

年 8 月

4. 見野靖晃. 処方せんに基づく医薬品の調製. わかりやすい新実務実習テキスト 2025-2026. 155–157. じほう 2024 年 8 月
5. 影山卓矢. 令和 6 年能登半島地震に置ける浜松医科大学附属病院 DMAT としての活動報告. 静岡県病院薬剤師会会報. 2024 年 82 号 10–11.
6. 室伏琢磨. 新人研修会を通じて感じたこと. 静岡県病院薬剤師会会報. 2024 年 82 号 51–51.
7. 田中達也. 薬剤師の仕事を学ぼう～子ども病院薬剤師体験. はんだ山の風. 2024 年第 57 号 10–10.
8. 鈴木光路. 心不全の薬物治療の「個人差」を理解する. 浜松医科大学広報誌 NEWSLETTER (未来を担う若手研究者紹介) . 2024 年 Vol. 51 (No. 1) 11–12.

D. 報告書

E. 記事・寄稿

F. 番組出演・報道

1. 田中達也. 「次いつ入ってくるかわからない」無痛分娩に影響も... 1 社製造の局所麻酔薬「アナペイン」設備不具合で出荷制限 (TBS テレビ N スタ) 2024 年 10 月 2 日
2. 田中達也. 出産や手術に影響「麻酔薬」不足...いつまで? (日本テレビ Day Day) 2024 年 10 月 10 日
3. 田中達也. 無痛分娩、がん治療に影響も...麻酔薬「アナペイン」が不足 減りゆく在庫に“不足の連鎖”も 医療現場に広がる不安 (フジテレビ Live News イット!) 2024 年 10 月 16 日

G. 著書・翻訳

H. 学会活動

【特別講演・シンポジウム・受賞講演など】

国内学会

1. 八木達也. 「集中治療領域ならでは」の TDM の活用～デクスメトミジン・リネゾリドの研究を通じて～. シンポジウム 1: 救急・集中治療における TDM を活用したエビデンス創出の推進に向けて. 第 40 回日本 TDM 学会・学術大会. 2024 年 7 月 (札幌)
2. 鈴木光路. 若手からできるキラル医薬品の TDM 研究の基礎と実践. ベーシックセミナー2: 若手でもできる! TDM 研究のエビデンス化, 第 40 回日本 TDM 学会・学術大会. 2024 年 7 月 (札幌)
3. 佐藤聖. がん悪液質の病態に着目したオピオイド鎮痛薬の TDM 研究. シンポジウム 8: がん悪液質患者における TDM 研究とそのエビデンスの日常診療への応用. 第 40 回日本 TDM 学会・

学術大会. 2024年7月（札幌）

4. 見野靖晃. 高齢心不全患者におけるトルバプタンの個別化投与設計. シンポジウム 20: 高齢者率 30%超えの超高齢社会における薬物投与設計をデザインするための Tips. 第 34 回日本医療薬学会年会. 2024年11月（千葉）
5. 川上純一. バイオシミラー使用促進の意義と取り組み: ウステキヌマブBSを含めて. メディカルセミナー10. 第 34 回日本医療薬学会年会. 2024年11月（千葉）
6. 川上純一. 医療現場から見た患者安全確保のための使用制限と医療ニーズ. シンポジウム 54: 医薬品の禁忌について考える. 第 34 回日本医療薬学会年会. 2024年11月（千葉）
7. 山田尚広. AS 活動の推進における大学病院の役割～人材育成と地域・社会への貢献～. パネルディスカッション 4: 薬剤師が AS 活動を推進するには何が良いか語り尽くす. 第 94 回日本感染症学会西日本地方学術集会/第 72 回日本化学療法西日本支部総会. 2024年11月（神戸）
8. 鈴木光路. 特定機能病院でリサーチマインドを持った臨床薬剤師として働くということ. シンポジウム 2: 臨床薬学研究による医療への貢献. 第 96 回医療薬学公開シンポジウム. 2024年11月（静岡）
9. 佐藤聖. ディスカッサー. シンポジウム 7: 免疫チェックポイント阻害剤によるリウマチ性免疫関連有害事象 (irAE) ～チームで学び極めよう！～. 第 39 回日本臨床リウマチ学会. 2024年12月（浜松）
10. 川上純一. 医療チームに知っていただきたいバイオ医薬品の基礎知識: バイオシミラー使用促進の意義と取組. シンポジウム 10: 「リウマチ治療の最前線: 薬剤師と医療チームとの連携」. 第 39 回日本臨床リウマチ学会. 2024年12月（浜松）
11. 八木達也. 関節リウマチの治療目標達成に向けた薬剤師の関わり. 市民公開講座講演 2. 第 39 回日本臨床リウマチ学会. 2024年12月（浜松）
12. 鈴木光路. NLRP3 インフラマソームに由来する心不全病態のヘテロ性の理解と薬物応答性の個人差. 第 30 回浜松医科学シンポジウム. 2025年3月（浜松）

【一般発表】

国際学会

1. Yagi T, Mino Y, Kato H, Doi M, Nakajima Y, Mimuro S, Naito T, Miura M, Kawakami J. Association between dexmedetomidine concentration in plasma and sleep quality in postoperative patients; a prospective observational study. 16th congress of the European Association for Clinical Pharmacology and Therapeutics (EACPT 2024). Jun 2024 (Rotterdam, Netherlands)
2. Suzuki K, Yagi T, Kawakami J. Long-term efficacies of selective vasodilators in pulmonary arterial hypertension: A comprehensive comparison using a spontaneous reporting database. 16th congress of the European Association for Clinical Pharmacology and Therapeutics (EACPT 2024). Jun 2024 (Rotterdam, Netherlands)

国内学会

1. 山口れな, 八木達也, 見野靖晃, 小泉慎一郎, 鈴木光路, 内藤隆文, 川上純一. 血中遊離形ペランパネル濃度の個体間変動要因の解析とその予測法の構築. 第34回日本医療薬学会年会. 2024年11月(千葉)
2. 加藤真也, 見野靖晃, 山末英典, 川上純一. 外来患者へのクロザピンの薬物治療管理における薬剤師の介入効果. 第34回日本医療薬学会年会. 2024年11月(千葉)
3. 塩谷衣津子, 八木達也, 室伏琢磨, 佐藤聖, 今井志乃ぶ, 飯山教好, 伊藤譲, 川上純一. 免疫チェックポイント阻害薬投与患者における副腎皮質機能低下症早期発見ツールの作成. 第34回日本医療薬学会年会. 2024年11月(千葉)
4. 鈴木利昌, 八木達也, 柴田海斗, 内藤隆文, 前川裕一郎, 川上純一. エドキサバンの薬物動態と出血リスクへ及ぼす心臓悪液質の影響. 第34回日本医療薬学会年会. 2024年11月(千葉)
5. 堀雄史, 曾布川洋平. 対人業務の効率向上に関する業務研究第1報 薬歴の記入速度の自己評価およびPC薬歴ソフトからiPad薬歴ソフトへの移行支援. 第34回日本医療薬学会年会. 2024年11月(千葉)
6. 石田卓矢, 八木達也, 山村真弓, 鈴木祥子, 鈴木明, 竹内裕也. 浜松医科大学附属病院における二層バッグ製剤の隔壁未開通事例の現状と対策. 第19回医療の質・安全学会学術集会. 2024年11月(横浜)
7. 塩谷衣津子, 八木達也, 佐藤聖, 飯山教好, 伊藤譲, 川上純一. 免疫チェックポイント阻害薬投与患者における患者背景・自覚症状に基づく副腎皮質機能低下症の早期発見ツールの作成. 第35回静岡県病院薬剤師会学術大会. 2025年2月(静岡)

【学会等における座長、オーガナイザー】

国内学会

1. 八木達也: 第18回学術大会日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会, 座長, ランチョンセミナー1, 2024年5月(名古屋)
2. 見野靖晃: 第40回日本TDM学会・学術大会, 座長, ベーシックセミナー2: 若手でもできる! TDM研究のエビデンス化, 2024年7月(札幌)
3. 八木達也. 第34回日本医療薬学会年会, 座長, 一般演題(口頭)28 医療安全2, 2024年11月(千葉)
4. 川上純一: 第34回日本医療薬学会年会, 座長, シンポジウム54: 医薬品の禁忌について考える, 2024年11月(千葉)
5. 石田卓矢: 第19回医療の質・安全学会学術集会, 座長, ポスター発表(活動報告: 医薬品(2)) 2024年11月(横浜)

地域における研究会、研修会

1. 石田卓矢: 骨粗鬆症を学ぶ会, 司会, 2024年11月(web)
2. 石田卓矢: 第35回静岡県病院薬剤師会学術大会, 座長, 一般演題セッション3【周術期・リス

クマネジメント・教育】.2025年2月（静岡）

3. 大城隼也: 妊婦・授乳婦薬物療法を学ぶ会, 座長, 特別講演. 2025年2月 (web)
4. 川上純一: 西部支部例会, 座長, 特別講演. 2025年2月 (浜松)
5. 山本知広: 病院業務におけるスキルアップを考える会, 総合司会, 2025年2月 (浜松)
6. 石田卓矢: 第16回はままつCDE研究会, 総合司会, 2025年2月 (浜松)
7. 丸山修治: 第16回はままつCDE研究会, 座長, 一般講演①, 2025年2月 (浜松)

I. 学会・会議開催

1. 田中達也, 佐藤聖, 八木達也: 子ども病院薬剤師体験, 企画運営, 2024年10月6日

J. 学会等における役職

1. 川上純一: 日本病院薬剤師会 副会長
2. 川上純一: 静岡県病院薬剤師会 副会長
3. 川上純一: 日本薬剤師会 副会長
4. 川上純一: 日本医療薬学会 代議員
5. 川上純一: 日本医療薬学会 学会誌 (Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences, Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences) 編集委員 (Editorial advisory board)
6. 川上純一: 日本臨床薬理学会 社員
7. 川上純一: 日本臨床薬理学会 広報委員会 委員
8. 川上純一: 日本臨床薬理学会 東海・北陸支部 支部世話人
9. 川上純一: 日本薬学会 医療薬科学部会 世話人
10. 川上純一: 日本薬学会 東海支部 幹事
11. 川上純一: 日本薬物動態学会 代議員
12. 川上純一: 日本薬剤学会 代議員
13. 川上純一: 日本薬剤疫学会 評議員
14. 川上純一: 日本薬剤疫学会 監事
15. 川上純一: 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 理事
16. 川上純一: 静岡県立大学 研究倫理審査委員会 委員
17. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 委員
18. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 疾病対策部会 委員
19. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 再生医療等評価部会 委員
20. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 臨床研究部会 委員
21. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 医薬品医療機器制度部会 委員
22. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 委員
23. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 薬事分科会 委員
24. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第一部会 委員

25. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第二部会 委員
26. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品再評価部会 委員
27. 川上純一: 厚生労働省 社会保障審議会 医療分科会 委員
28. 川上純一: 厚生労働省 社会保障審議会 療養病床の在り方等に関する特別部会 委員
29. 川上純一: 厚生労働省 特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会 構成員
30. 川上純一: 厚生労働省 がん診療提供体制のあり方に関する検討会 構成員
31. 川上純一: 厚生労働省 医療放射線の適正管理に関する検討会 構成員
32. 川上純一: 厚生労働省 医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議 構成員
33. 川上純一: 厚生労働省 医政局経済課委託事業 後発医薬品使用促進ロードマップ検証検討事業検討委員会 委員
34. 川上純一: 厚生労働省 医政局経済課委託事業 バイオ医薬品の使用促進に係る普及啓発等事業 委員
35. 川上純一: 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 審査・安全業務委員会 委員
36. 川上純一: 東海地区薬学部学生病院・薬局実務実習調整機構 委員
37. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) トライアウト 専門委員
38. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START) 外部専門家
39. 川上純一: 公益財団法人日本医療機能評価機構 評議員
40. 川上純一: 公益財団法人日本医療機能評価機構 評価事業運営委員会 委員
41. 川上純一: 一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業運営委員会 委員
42. 川上純一: 一般社団法人日本医薬情報センター (JAPIC) 副会長
43. 川上純一: 国立大学附属病院長会議常置委員会 特定機能病院間相互のピアレビュー実施に伴う評価方法と基準の作成等に係るワーキンググループ 委員
44. 見野靖晃: 静岡県病院薬剤師会 評議員
45. 見野靖晃: 日本臨床薬理学会 社員
46. 見野靖晃: 日本薬学会 医療薬科学部会 若手世話人
47. 見野靖晃: 日本薬学会 代議員
48. 見野靖晃: 日本 TDM 学会 評議員
49. 見野靖晃: 日本医療薬学会 評議員
50. 青野浩直: 静岡県病院薬剤師会 理事
51. 八木達也: 日本臨床薬理学会 編集委員会 委員
52. 八木達也: 日本薬剤疫学会 編集委員会委員
53. 八木達也: 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修小委員会委員
54. 山田尚広: 国公立大学病院感染対策協議会 ガイドライン作業部会 薬剤師委員代表
55. 石田卓矢: 静岡県病院薬剤師会 学術研修委員会 委員

56. 鈴木光路: 日本 TDM 学会 若手研究者の会 委員

K. 学会等への貢献

学術雑誌の査読

1. 見野靖晃. Current Drug Safety (May 2024)
2. 見野靖晃. Current Drug Safety (Jul 2024)
3. 見野靖晃. Current Drug Safety (Jul 2024)
4. 見野靖晃. Current Drug Safety (Jul 2024)
5. 見野靖晃. Current Drug Safety (Aug 2024)
6. 見野靖晃. Current Drug Safety (Sep 2024)
7. 見野靖晃. Current Drug Safety (Oct 2024)
8. 見野靖晃. Current Drug Safety (Nov 2024)
9. 見野靖晃. Current Drug Safety (Nov 2024)
10. 見野靖晃. 日本病院薬剤師会雑誌 (Dec 2024)
11. 見野靖晃. Current Drug Safety (Dec 2024)
12. 見野靖晃. Current Drug Safety (Jan 2025)
13. 見野靖晃. Clinica Chimica Acta (Feb 2025)

認定審査協力

L. 研究会

1. 石田卓矢. 糖尿病合併症に対する薬剤師の役割. 第一三共糖尿病 Total Care Seminar. 2024 年 4 月 (web)
2. 山本知広. 当院における糖尿病教育の実際. 第 16 回はままつ CDE 研究会, 2025 年 2 月 (浜松)
3. 伊藤由佳. 新人教育プログラム. 病院業務におけるスキルアップを考える会. 2025 年 2 月 (浜松)

M. 学外講義・特別講演

1. 鈴木光路. 大学病院でリサーチマインドを持った臨床薬剤師になるために. 静岡県立大学 大学病院薬剤師シンポジウム. 2024 年 12 月 (静岡)

N. 院内講義・講演

1. 見野靖晃. 医薬品のリスクマネジメント (処方の仕方、薬剤使用の注意点) . プライマリ・ケアの実践講座. 2024 年 4 月 13 日
2. 田中紀章. 静脈栄養の基本. 第 223 回 NST 勉強会. 2024 年 4 月 15 日
3. 望月啓志. 感染看護. 2024 年 4 月 30 日
4. 八木達也. 当院における医薬品安全管理について～医薬品の適応外使用や薬剤部・病棟での取

り組み～. 第1回医療安全講習会. 2024年5月22日

5. 石田卓矢. 当院における医薬品安全管理について～医薬品の適応外使用や薬剤部・病棟での取り組み～. 第1回医療安全講習会. 2024年5月22日
6. 山本知広. NSTにおける薬剤師の役割と輸液、簡易懸濁法 薬剤部見学. NST 研修. 2024年7月2日
7. 田中達也. 緩和領域における薬物治療と地域連携. 第2回緩和ケア講習会. 2024年8月6日
8. 見野靖晃. 医薬品の体内動態及び臨床効果の個人差要因. 先端医学特論 II. 2024年9月3日.
9. 望月啓志. 抗菌薬適正使用 Episode13. 第3回感染対策講習会. 2024年12月13日

O. 施設見学受け入れ

P. 研究助成

1. 川上純一（代表）：2021年度科学研究費補助金，基盤研究（C）「がん病態時における末梢性 μ オピオイド受容体拮抗薬による臨床効果の個人差要因の解明」（2021-2023年度）（継続）
2. 荒川友博（代表）：2021年度科学研究費補助金，基盤研究（C）「NASHの肝線維化におけるマクロファージの活性化を介した組織線溶関連因子の役割」（2021-2024年度）（継続）
3. 井元優美（代表）：2022年度科学研究費補助金，若手研究「アゾール系抗真菌薬の薬物輸送担体阻害に基づく相互作用と臨床検査値の変動機序の解明」（2022-2026年度）（継続）
4. 佐藤聖（代表）：2022年度科学研究費補助金，若手研究「がん悪液質の病態時における CYP3A 活性の定量評価とグレリン様作用薬の影響の解明」（2022-2025年度）（継続）
5. 鈴木光路（代表）：公益財団法人 薬学研究奨励財団，第44回（2023年度）研究助成金（グループB）「病態クラスタリングによる左室駆出率の保たれた心不全患者の層別化と SGLT2 阻害薬の臨床効果の個人差解明」（新規）
6. 川上純一（代表）：2024年度科学研究費補助金，基盤研究（C）「脳血管障害時における AMPA 受容体拮抗薬の中枢移行および薬効・有害作用の個人差の解明」（2024-2026年度）（新規）
7. 八木達也（代表）：2024年度科学研究費補助金，基盤研究（C）「CXCR4 システム・口腔マイクロバイオームに着目した薬剤関連顎骨壊死の発症予防戦略」（2024-2026年度）（新規）
8. 長邑花（代表）：2024年度科学研究費補助金，若手研究「マイオカインに着目した、サルコペニア患者でのがん免疫療法予後不良機序に対する検討」（2024-2027年度）（新規）
9. 鈴木光路（代表）：2024年度科学研究費補助金，若手研究「自然炎症マーカーを用いた HFpEF 患者の病態クラスタリングと薬物治療選択への応用」（2024-2027年度）（新規）
10. 坂口健太（代表）：2024年度科学研究費補助金，奨励研究「炎症性腸疾患に対するサイトカイン量を指標としたウステキヌマブの個別化治療の確立」（新規）
11. 竹下舜也（代表）：2024年度科学研究費補助金，奨励研究「血中 GLP-1 を指標とする SGLT2 阻害薬の HFpEF 患者における有効性予測法の確立」（新規）
12. 山口れな（代表）：2024年度科学研究費補助金，奨励研究「ペランパネルによる精神神経症状

の発現を予測するバイオマーカーの探索」(新規)

13. 八木達也(代表): 浜松医科大学. 2024年度学内研究プロジェクト(選抜研究支援事業)「骨代謝バランス・口腔内免疫システム・口腔内マイクロバイオーームに着目した薬剤関連顎骨壊死の発症予防プロジェクト ~国内・国際共同データ駆使型ドラッグリポジショニング研究~」
14. 山田尚広(代表): 浜松医科大学. 2024年度学内研究プロジェクト(若手研究支援事業)「ポリコナゾールのヒドロキシル化代謝物による皮膚障害発症機序の検証と継続的治療のためのTDMへの応用」
15. 鈴木光路(代表): 浜松医科大学. 2024年度学内研究プロジェクト(若手研究支援事業)「NLRP3インフラマソームに着目したSGLT2阻害薬の抗心不全作用の個人差の理解と治療戦略」
16. 山口れな(代表): 浜松医科大学. 2024年度学内研究プロジェクト(大学院生学生研究支援事業)「遊離形ペランパネル濃度の変動要因の解析及び予測式の確立と中枢性副作用発現との関係解明」
17. 竹下舜也(代表): 浜松医科大学. 2024年度学内研究プロジェクト(大学院生学生研究支援事業)「Angiotensin 1-7を指標とするSGLT2阻害薬による心不全治療の最適化の検討」

Q. 共同研究

【国内】

1. 村木優一、冢瀬諒、漣航平(京都薬科大学): テイコプラニンあるいはバンコマイシンとピペラシリン/タゾバクタムの併用療法による急性腎障害の発現率の比較
2. 伊藤邦彦, 辻大樹, 室伏琢磨(静岡県立大学): 日本のデータベースを用いたPPIと有害作用発現リスクとの関係

【学内】

1. 小川法良(免疫リウマチ内科): 関節リウマチ患者における免疫抑制薬の体内動態と薬効および有害反応との関係
2. 三宅秀明(泌尿器科): 腎細胞がん患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
3. 前川裕一郎(循環器内科): 心不全患者における利尿薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
4. 前川裕一郎(循環器内科): 心房細動患者における抗凝固薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
5. 細川誠二(耳鼻咽喉科): 頭頸部がん患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
6. 小野孝明(血液内科): 易感染性患者における抗真菌薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
7. 永田泰之(血液内科): 多発性骨髄腫患者における抗体医薬の薬物動態に関する前向き観察研究

8. 加藤明彦（血液浄化療法部）：栄養輸液の連続投与が体内へ及ぼす影響の解明
9. 杉本健（消化器内科）：酸関連疾患患者における胃酸分泌抑制薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
10. 黒住和彦（脳神経外科）：てんかん患者における抗てんかん薬の血中動態と臨床効果の個人差要因の解明
11. 松山幸弘（整形外科）：静脈血栓塞栓症における抗凝固薬とその代謝物の体内動態の個人差要因とそれらの治療効果・有害作用との関係解析

R. 受賞

1. 鈴木光路. 若手卓抜研究者, 浜松医科大学（令和6年度）. NLRP3 インフラマソームに着目した SGLT2 阻害薬の抗心不全作用の個人差の理解と治療戦略
2. 塩谷衣津子. 優秀演題賞, 第35回静岡県病院薬剤師会学術大会. 免疫チェックポイント阻害薬投与患者における患者背景・自覚症状に基づく副腎皮質機能低下症の早期発見ツールの作成

S. 資格認定（2024年4月1日～2025年3月31日）

1. 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 2名：加藤真也, 佐藤聖
2. 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療専門薬剤師 1名：加藤真也
3. 日本臨床腫瘍学会 がんゲノム医療コーディネーター研修会受講 1名：佐藤聖
4. 日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師 2名：森下由加里, 望月啓志
5. 日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師 2名：八木達也, 山田尚広
6. ICD 制度協議会 インфекションコントロールドクター 2名：八木達也, 山田尚広
7. 日本病院薬剤師会 精神科薬物療法認定薬剤師 1名：加藤真也
8. 日本病院薬剤師会 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 1名：大城隼也
9. 日本糖尿病療養指導士認定機構 糖尿病療養指導士 4名：山本知広, 丸山修治, 石田卓矢, 内田千瑛
10. 日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士 5名：青野浩直, 山本知広, 田中紀章, 玉内志保, 内田千瑛
11. 日本臨床栄養代謝学会 臨床栄養代謝専門療法士（がん専門療法士） 1名：田中紀章
12. 日本薬剤師研修センター 認定薬剤師 5名：見野靖晃, 山本知広, 田中紀章, 田中達也, 大城隼也, 中西美怜
13. 薬学教育協議会 認定実務実習指導薬剤師 11名：川上純一, 見野靖晃, 青野浩直, 八木達也, 山本知広, 高井伸彦, 丸山修治, 田中紀章, 山田尚広, 石田卓矢, 田中達也
14. 日本病院薬剤師会 日病薬認定指導薬剤師 12名：川上純一, 見野靖晃, 青野浩直, 八木達也, 加藤真也, 山田尚広, 田中紀章, 石田卓矢, 田中達也, 玉内志保, 大原早織, 井元優美
15. 日本病院薬剤師会 日病薬認定病院薬学認定薬剤師 17名：高井伸彦, 加藤真也, 田中達也, 玉内志保, 片桐由紀子, 井元優美, 内田千瑛, 森下由加里, 加藤彩, 鈴木光路, 山本和輝, 坂口

健太, 鈴木利昌, 望月啓志, 黒澤優子, 山口れな, 曾布川実里

16. 日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師 13名: 川上純一, 見野靖晃, 青野浩直, 八木達也, 加藤真也, 丸山修治, 山田尚広, 田中紀章, 石田卓矢, 佐藤聖, 田中達也, 大城隼也, 井元優美
17. 日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師 5名: 川上純一, 見野靖晃, 八木達也, 丸山修治, 山田尚広
18. 日本臨床薬理学会 認定薬剤師 6名: 川上純一, 見野靖晃, 山田尚広, 田中紀章, 佐藤聖, 鈴木光路
19. 日本臨床薬理学会 認定CRC 1名: 高井伸彦
20. 日本臨床薬理学会 指導薬剤師 3名: 川上純一, 見野靖晃, 山田尚広
21. 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師 1名: 田中紀章
22. 日本医療薬学会 薬物療法指導薬剤師 1名: 八木達也
23. 日本臨床化学会 認定臨床化学者 1名: 見野靖晃
24. 日本循環器学会 心不全療養指導士 2名: 山口れな, 川田雅貴
25. 日本病院薬剤師会 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習 受講 14名: 見野靖晃, 加藤真也, 山田尚広, 石田卓矢, 佐藤聖, 田中達也, 井元優美, 鈴木祐介, 坂口健太, 鈴木利昌, 望月啓志, 黒澤優子, 山口れな, 川田雅貴
26. 有機溶剤作業主任者 技能講習受講 1名: 見野靖晃
27. 普通第一種圧力容器取扱作業主任者 技能講習受講 1名: 青野浩直
28. 日本DMAT 1名: 石田卓矢
29. 静岡県DMAT-L 隊員 1名: 大城隼也
30. 静岡県肝炎医療コーディネーター 1名: 内田千瑛
31. 日本精神科評価尺度研究会 薬剤性錐体外路症状評価尺度評価者 Web 講習 12級修了 1名: 加藤真也

T. 施設認定 (2024年4月1日~2025年3月31日)

1. 日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師制度 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設 (基幹施設) 認定番号 第21-0067号
2. 日本医療薬学会がん専門薬剤師制度 がん専門薬剤師研修施設 認定番号 第20-10-0086号
3. 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師制度 薬物療法専門薬剤師研修施設 (基幹施設) 認定番号 第23-12-0054号
4. 日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師制度 医療薬学専門薬剤師研修施設 (基幹施設) 研修施設 第24-99-0076号
5. 日本臨床薬理学会 認定薬剤師研修施設 研修施設 第9916号
6. 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業 暫定研修施設 研修施設 第21-5068-01号
7. 日本病院薬剤師会 プレアボイド報告施設

8. TDM 品質管理機構 2023 年度 抗菌・感染症薬 TDM コントロールサーベイ参加

9. 薬学教育協議会 薬学生実務実習受入施設 令和 6 年度

U. 学位申請

1. 坂口健太：博士（医学）浜松医科大学（2025 年 3 月）「消化器系疾患患者における内因性マーカーおよび遺伝子変異体を用いた血漿中ボノプラザンおよび CYP3A 活性の特性. Characterization of plasma vonoprazan and CYP3A activity using its endogenous marker and genetic variants in patients with digestive system disorders.」

V. 学位

川上純一（薬学）

見野靖晃（医療薬学）

八木達也（医学）

加藤真也（医学）

丸山修治（医療薬学）

大城隼也（薬学）

山田尚広（医学）

石田卓矢（医学）

佐藤聖（医学）

田中達也（医学）

鈴木光路（薬学）

荒川友博（薬学）

室伏琢磨（薬学）

井元優美（医学）

鈴木祐介（医学）

坂口健太（医学）

長邑花（薬学）

大学院生

浜松医科大学の大学院生 8 名

<文責> 見野靖晃